

年月日	令和8年2月17日(火) 14:00から16:23まで	担当課	市民と共に考える課
会議名	令和7年度第3回 市民協働のまちづくり推進委員会	場所	常総市役所 議会棟2階 大会議室
<p>《出席者》瀬高会長(3), 橋本委員(1), 染谷栄一委員(1), 寺田委員(1), 中莖委員(2), 貴志委員(2), 中山副会長(3), 野村委員(2), 谷口委員(1), 横田委員(2) 計10名</p> <p>《欠席者》坂巻委員(2), 坂入委員(2), 染谷悦子委員(1), 土田委員(2), 佐賀委員(2) 計5名</p> <p>《常創戦略課》倉持(勝)課長, 宮地課長補佐, 金子計画推進係長 《事務局》倉持(正)課長, 猪瀬相談係長, 小林主幹</p>			
<p>【内容】</p> <p>1. 開 会 (14:00)</p> <p>2. あいさつ</p> <p>3. 議事：常総市総合計画の見直しについて(常創戦略課事務局)</p> <p>(1) はじめに (14:10～)</p> <p>前回, クリスマス直前の令和7年12月23日(火)に行った第2回目の市民協働のまちづくり推進委員会に引き続き, 今回の議題も総合計画の見直しです。</p> <p>前回皆様には, 10年後住み続けたいまちはどんなまちがいいか, それぞれに発言いただきました。</p> <p>今回も, 委員の皆さんには, 忌憚のない御意見をいただきたい。</p> <p>(2) 第1回(12月23日)のおさらい(14:15～)</p> <p>① 総合計画とは(概要の説明)</p> <p>常総市の総合計画=市の最上位計画であり10か年の基本構想。この総合計画に基づいてそれぞれの事業が展開されていきます。基本構想と基本計画が令和9年度までのため, それの見直し策定検討を行っていきます。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>〈基本構想〉</p> <p>1 都市将来像：みんなでつくる しあわせのまち じょうそう ～あの一がいるからこのまちがすき～</p> <p>2 基本理念：じょうそう③「た」のまちづくり</p> <p>①楽しいまち=みんなでつくるまちづくり(交流人口の拡大)</p> <p>②為になるまち=みんなに役立つまちづくり(市民総活躍と経済活性化)</p> <p>③頼りにされるまち=みんなが支えあうまちづくり(福祉の充実と防災先進都市)</p> <p>この3つの頭文字をとって③「た」のまちづくりとしている。</p> </div> <p>② どんな常総市に住み続けたいですか? (前回, 皆さんからのご意見をご紹介)</p> <p>ア 10年後, こんなまちに住みたい(前回のご意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ きれいなまち 			

(3) どんな常総市に住みたいか？(ディスカッション)(14:35～)

① 個人ワーク

先ほどのご意見を踏まえて、今回のテーマ：10年後の「住みよい」、「住みたい」常総市はどんなまちですか。各委員皆様の専門的なご意見を教えてください。書き方としては「何々をしてほしい」という書き方ではなく、目指すまちの姿として「～なまち」という形にして書いてください。

(下記の<施策大綱>の中から2つ選んでいただき、アからカの6分野の小項目から、各委員の関心テーマを2つ選んで、その項目に係る「住みたいまち」の姿を書き出す個人ワークを実施)

<施策大綱>

ア 市民参画の推進

- 1) 参画と協働の仕組みをつくり、活動の輪を広げる (①市民協働・コミュニティ活動・男女共同参画, ②情報公開・広報・広聴, ③都市間交流・国際交流)
- ④人権

イ 保健・医療・福祉の充実

- 1) 生涯にわたり市民の健康を守り、育む (①保健, ②医療)
- 2) 市民が相互に支え合う福祉を進める (①地域福祉, ②少子化対策・子育て支援)
- 3) 誰もが生きがいを持てるまちづくりを進める
(①高齢者福祉, ②障がい者福祉, ③生活の自立支援・社会保障)

ウ 学校教育・生涯学習の推進

- 1) 学校教育を充実し、次世代を育てる
(①学校教育, ②高校・高等教育機関との連携, ③青少年健全育成)
- 2) 生涯を通じた学習活動を促進する (①生涯学習, ②スポーツ振興, ③地域文化)

エ 生活環境の充実

- 1) 安全な暮らしを確保する (①水害からの復興, ②防災, ③消防・救急, ④交通安全, ⑤防犯)
- 2) 自然と調和した生活環境をつくる (①廃棄物処理, ②公害防止)

オ 都市基盤の充実

- 1) 自然環境の保全と活用を進め、環境と共生する (①自然環境保全・環境共生, ②公園管理)
- 2) 多様な交流を促す交通ネットワークを形成する (①道路網の整備, ②交通機関の整備)
- 3) 快適な都市環境の整備を進める
(①土地利用と市街地整備, ②住宅・宅地, ③生活の自立支援・社会保障, ④上水道, ⑤下水道)

カ 産業振興

- 1) 環境と共生し、付加価値を生み出す農業を育てる (①農業基盤の整備, ②農業経営の強化)
- 2) 雇用を高め、賑わいをもたらす商工業・観光を振興する
(①商業の振興, ②農業経営の強化, ③企業誘致, ④地場産業, ⑤フィルムコミッション, ⑥観光)
- 3) 産業間の融合により、6次産業化を進める (①雇用・就労環境, ②農商工連携)

14:55～15:00 休憩

② グループ討議

上記①の個人ワークで考えていただいた内容をグループの皆様同士で共有し意見交換を行っていただきます。

発表いただいた方に対するコメントの仕方は「No, But・・・」と否定するのではなく、「Yes, and・・・」で肯定して答え、さらにはこういうことも良いのではないかと、建設的なコメントをお願いします。

15:52～16:00 休憩

③ 全体討議

上記②のグループ討議での内容を踏まえ、各グループ内での意見交換の結果を発表していただきます。

<発表概要>

ア Cグループ（発表者：横田委員）

- ・ 教育に関して。最近人に頼りすぎる子が多いように思うので、自分で動ける人になれるような教育になるとよい。そのためにも、もっと行政が動いてほしい。
- ・ 産業について。動画等を作成・公表し職人のすごさをPRしてみてもどうか。そうすれば職人に憧れる人が増える。もっと、地元の企業を地元の小学生から知ってもらうような取組があると、地元で働く人も増えるのではないかと。そもそも知らないということが課題となっていると思う。
- ・ 企業の人材確保について。この人がいるから働きたいと思える人間関係が大事。知っている人がいることの安心感にもなる。コミュニケーションをとることは重要。
- ・ 人権について。人種差別がないまちにしたい。子どもは外国籍のクラスメイトがいるのが当たり前で差別という意識がないが、大人の方にそういった意識を改善する取組が必要。
- ・ 多文化共生について。大きなイベントをやることもよいが、地域の中で、小さなことから始めることが大事ではないか。

イ Bグループ（発表者：常創戦略課 倉持課長）

- ・ 青少年育成に関して。子供が生き生きと成長できるようなまちづくりをしたい。また、若い親の世代が集えるようなコミュニティの場などの整備を行政には行ってほしい。さらに、SNSが引き金で引きこもりになった子どもたちを守るような環境を作してほしい。

ウ Aグループ（発表者：橋本委員）

- ・ 人口減少対策に関して。常総市の人口減少をどう止めるか。水海道市街地だけでなく、のびしろがある地区がたくさんあるので、そこを活用してみてもどうか。
- ・ にぎわいづくりに関して。にぎわいを取り戻すためには、人が集まる場所が必要。道の駅常総が大変賑わっているが、そこと連携する形で、既存の資源を活用した観光開発をしてみてもよいのではないかと。
- ・ ごみ問題について。ごみが捨てられる場所には捨てやすい理由がある。それを解決する必要がある。そもそもモラルの問題でもあり、事業者の中でも指導をする必要がある。
- ・ 外国人との共生について。お互いさまの精神で補い合う心をもって接すればうまくいくのではないかと。

④ 事務局コメント

本日はたくさんの素晴らしい御意見をいただいた。特に、常総市の良い部分を伸ばすことはもちろんのこと、普段の生活の中で気になる悪い部分を改善することができれば、まちはより良く発展することにつながる。良い部分と悪い部分は表裏一体であり、市役所職員として常総市がさらに良くなるように改善していきたい。また、行政だけではなく、市民の皆様と常総市で One Team となり取り組んでいければありがたく、本日の貴重なご意見は今後の大きな糧となると考える。本日は貴重なご意見をいただきありがとうございました。

⑤ 瀬高会長より総括

それぞれのグループからいろいろなご意見をいただきましたが、10年先のまちづくりを考えると共通して言えることは「教育」というものです。国の宝である子どもたちに住みよい、生き活きとした地域づくりをしていくのが大切ではないかと思いました。本日は貴重なご意見ありがとうございました。

4. その他

報酬について、来年度の市民協働のまちづくり推進委員会について説明

5. 閉 会（16時23分）

(以上)